



今年の
アート緑日出展
受付が始まります

今年も、19回目のアート緑日の開催を予定しています。今年の開催も、いつものように「体育の日3連休」の前2日間＝10月9日、10日（土曜日と日曜日）を予定しています。一般ブースの出展の受付はゴールデン・ウィーク明けから、7月9日（金曜日）が締め切りです。

出展をご希望の方は、事務局まで
まずは 電話で確認してみてください。

アート緑日実行委員会 事務局 ☎ 045 (243) 2013



ヨコハマポートサイド街づくり協議会では、新しい試みとして、地区内の施設や飲食店を会場にした小さなコンサート「A Little Bit Concert」を開催させていただきました。
第1回は、平成21年12月19日「クリスマス・コンサート」と銘打って、幸ヶ谷集会所で、
第2回は、平成22年2月12日に「バレンタイン・コンサート」と銘打って、神奈川トヨタ myx ビル地階「レストラン・クリックス」にて挙行させていただきました。

両コンサートの中心になっていただいたのは、ハーモニカ奏者の大竹英二さん、世界的なコンテストで日本人で二人目のチャンピオンになられた方です。幸ヶ谷集会所での開催では、冒頭より「赤とんぼ」などの懐かしい楽曲の披露もあり、小さなコンサートならではの、演奏者とご来場のみなさんとのコミュニケーションも豊かに、あっという間に90分が過ぎていきました。

一方、レストラン・クリックスの開催では、大竹さんを中心に、南米ブラジルの民族楽器「アルバ」&ギターのよるトリオ演奏。こちらは映画「雨に唄えば」のテーマ曲など、スタンダード・ポップスに「コーヒー・ルンバ」などを加えた、大人な感じのコンサートになりました。

両日も素晴らしい日に当たってしまいましたが、会場には、あたたかい空気が流れていました。会場にお運びいただいたお客様さまに心より感謝しています。



A Little Bit Concert vol.1&2

発行日：2010年3月30日

編集：ヨコハマポートサイドA&Dコーディネーター事務局 ☎ 045-243-2013

UMIKAZE2010



ヨコハマポートサイド
うみかぜ

ヨコハマポートサイド地区 ミニコミ紙

特集 神奈川公園と幸ヶ谷集会所

お知らせ
今年のアート緑日、もうすぐ出展受付開始

おかげさまで
A Little Bit Concert vol.1&2

発行：ヨコハマポートサイド街づくり協議会



さりげないけれど
区の名前を冠した公園であるということ
神奈川公園

神奈川公園は、国道15号線の脇にひっそりとたたずむ公園です。でも「神奈川公園」と、神奈川区の名前を冠した公園です。なぜなら、この公園は、関東大震災の瓦礫を埋め立ててつくった山下公園や、避難所を兼ねて整備された野毛山公園などととも、大震災からの復興事業として整備された公園のひとつだからです。

工事が始まったのは、震災から5年後の1927年（昭和2年）から。ていねいに盛り土と埋め立て工事を行なって水平を出し、植栽をして、公園中央には噴水が配されるなど、3年後の1930年（昭和5年）、当時としては珍しい本格的な「近代公園」として整備されました。

公園には、鉄筋コンクリート三階建て、美しいステンドグラスで彩られた「神奈川会館」が建てられ、その中には食堂や集会室が設けられていました。まさに、神奈川区のコミュニティにとって「中心地」となるようにと計画された公園でした。

しかし、昭和20年の横浜大空襲で、このあたりも大きな痛手を受け、公園は、被害を省みられることもなく、進駐軍の接収を受けるようになります。1952年（昭和27年）、接収は解除になり、翌年、公園としての再改修の工事も施されますが、すでに往時を偲ぶという状態に近く、なんとか戦火を免れていた神奈川会館も老朽化のため1983年（昭和58年）には取り壊されることになりました。その際、大半の機能は神奈川会館（東神奈川駅前）に受け継がれることになりましたが、地元の強い要望もあって、神奈川公園内に翌年「集会所」として整備されたのが、現在の横浜市立幸ヶ谷集会所です。地元の人々に大切にされながら、この集会所も2004年（平成16年）には開館20周年を迎えています。

さりげないけれど、ヨコハマポートサイド地区の歴史が始まる前から
地域にしっかりと根付いた公園です。

神奈川公園とは目と鼻の先、ちょうど横浜中央卸売市場の入口にあたる、ちょうど「中央市場入口」の信号のあたりに「神奈川町本陣跡と青木町本陣跡」というプレートがあります。



本陣とは、江戸時代当時、各宿場にあった大名や幕府役人、公家など専用の宿のことですが、プレートには「神奈川町本陣跡は、現在の小野モータースあたり、青木町本陣は現横浜銀行中央市場支店あたりです。」と書いてあります。今はまた再開路の進捗などによって位置の特定は難しくなっていますが、新たな歴史のページだけでなくヨコハマポートサイド地区には、開港以前の歴史がつつれ織りのように残っていることだけは事実です。大切にしていかなければと思います。



神奈川区役所が認定する「わが町かながわ50選」にも認定されています。昔になると一面のシロツメクサがひろがるご紹介されています。

神奈川公園「15号国道沿いの歴史の道」
1. 青木町本陣跡と神奈川町本陣跡

子どもたちにとっても そして、地域の歴史にとっても 大切な 横浜市幸ヶ谷集会所



今も、幸ヶ谷集会所の一角には「神奈川会館」に使用されていたステンドグラスの一部が残されています。このことから、「神奈川会館」の存在感が、地元にとって大きなものだったこと、また、幸ヶ谷集会所が、たんなる集会所ではなく、地元の強い要望を受けて「神奈川会館」の後継施設として計画されたものであることがわかります。今はNPO法人によって運営され、それぞれの自主団体の教室や会合などに貸し出されていますが（一部に自主事業も）、その利用者数は年間2万5千人にも及ぶといえます。この数字からも、この施設が、いかに地元愛されているのかということがわかるのだと思います。入口近くの小さな図書コーナーには、いつ行っても子どもたちの姿を見かけます。そうしたことから、本当の意味で「地域に根付くとは何か」を考えさせられる施設でもあります。

開設年月日	昭和59年（1984年）6月20日
構 造	鉄筋コンクリート造
階 数	地上2階建
延床面積	371.03㎡
施設 内容	1階：会議室、図書コーナー、事務室 2階：和室、研修・会議室

神奈川公園の遺伝子

右は現在、ycsビルの隣りにある「金港公園」をデザインする際に、石の彫刻家 岡本敦生さんによって構かれたエスキースです。現在も、この面にあるように1本のケヤキが植えられています。これは、もともと「神奈川公園」に植えられていた樹です。もともと素材が持っていた歴史を活かした石組みの公園。神奈川公園の開放性を豊かにするために植えられることになった樹を再利用したものです。

